

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【和土小】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	(1)資料を読み解き、習得した知識・技能を活用しながら課題を解決する資質・能力 (2)主体的・対話的に学ぼうとする資質・能力
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1)読書タイムやNIE実践指定校としての新聞活用、学校図書館を利用し、複数の本などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する言語活動を行う。【学期に1回以上】 (2)児童同士が意見の伝え合いをしたり、自分の考えを説明したりする授業の実施。【各単元で1回以上】ICTの活用や具体物の操作、学習プリント等を通しての反復学習の時間を確保できる見通しをもった単元計画の立案【毎単元】

ざらざら(構円)

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	調査の振り返り(4月)	学力向上策の実施
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	さいたま市学習状況調査(5月) <小1~中3> (11~12月)	
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業	

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	調査結果分析(7月)
↓		
学力向上策の 見直し	中間評価(9月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所